

令和5年度 第1回
都市交通における自動運転技術の活用方策に関する検討会
議事要旨

1. 日時

令和5年 11月 14日(火)10:00~11:30

2. 出席者

＜委員＞森本章倫座長、糸久正人委員、大串葉子委員、金森亮委員、中村英夫委員、中村文彦委員、藤原章正委員、三好庸隆委員、森川高行委員

3. 議事

- ・望ましい都市像の実現に向けた自動運転導入の基本的な考え方
- ・望ましい都市像の実現に向けた対応策(案)

4. 議事概要

【ポイント集の基本的な考え方について】

- (自動運転化されたとしても)公共交通がすべての人が乗ることのできるモビリティであること、高齢社会になる中で安心して乗ることのできるモビリティであること、公共交通がそもそも(自家用車より)優先されるべき点を記載してもらえればと思う。
- 地方自治体の参考になるように、事例や費用負担についての最新情報がポイント集にあるといいのではないか。
- SAE レベル5の自動運転時代であれば、自家用自動運転車を制御していかないと、マイカーが都市部に過剰に流入してしまい、公共交通は誰も利用しなくなる。
- まちづくりと連携した望ましい姿を出そうということであれば、SAE レベル4に限定せず、SAE レベル5のことも想定したほうがいいのではないか。
- スマートシティの観点から、エネルギーや防災が(自動運転と)どうつながっていくのかも記載されるとより良いのではないか。
- バス、タクシー、運送ロボットなど、どこまでを公共交通が担い、どこまでを民間が行うのか、どういうものを導入するとどういった効果が生まれるのかなどを整理されると良い。
- 14 頁以降について、短期的にやれるもの、中長期的にやれるものを仕分けながら、深掘してけるといいのではないか。
- ポイント集では、自動運転導入の実例と、想定される課題が掲載されているといいのではない

か。

- 長期的な視点と短期的な視点を整理しておくのが良いと思う。また、地域公共交通計画との関係も示しておいてほしい。
- まちづくりを前提、目的として、自動運転をどのように活用していくのかというスタンスでポイント集を作成することで概ね一致したと思う。ただし、時間軸や、SAE レベル5などについて、今後整理していく必要がある。

【望ましい都市像に向けた対応策(案)について】

- 都市、特に身近なエリアや駅前広場などにおいて、車両をコントロールすべき時代に来ている。例えば身近なエリアで言えば、住宅地を抜け道として使う車の排除を賢く行うなど、ICT 技術を使って駐停車や通過交通のマネジメントをしっかりと行っていくことが重要ではないか。
- 郊外ニュータウンで困っている自治体を念頭に、直近ではこのようなことができ、SAE レベル5などが実現した将来ではこのようなことができるといった、段階的な記載も重要ではないか。
- 都市交通のところで、自動車混雑の平準化という言葉が記載されているが、自動運転の導入により、道路の容量自体の考え方が変わっていくと思う。自動車混雑の平準化ではなく、所要時間の平準化等の言葉を使うべきではないか。
- 27 頁について、AIやシミュレーション、プラトーなどに関係してくるかと思うが、どういうデータをとって、どういう形で進めていくべきか、その方向性を示せるといいのではないか。
- ポイント集が、行政や開発事業者の参考となるには、実現に向けた取組案や検討プロセスの記載が必要。

以上